



南面する総檜造りの神門

清新にして和やかな会を

会長 森田 賢治

物が豊かで、経済優先の社会にあって、心の豊かさを求め、精神的価値を大切にすることへの願いが高まりつつあるとき、地域連帯の核心ともいえるべき六郷神社に、新しい時代にふさわしい崇敬会の発足をみたことは、誠に同慶に堪えません。

このときに当たり、はからずも会長に選任されましたことは、微力の身にとって光栄であるとともに、責任の重さを痛感しております。今後、みなさんのご支援を得て、敬神を旨とする清新にして和やかな会の実現に努めて参りたいと思います。

六郷の精神文化の中心に

宮司 鈴木 武司

さきの鎮座九百三十年祭記念のご造営事業では、神様中心の施設の整備充実に、多大のご奉賛をいただきましたが、このほど結成されました崇敬会は、神と人、人と人との心のつながりを、なによりも大切に、神社を中心としたよりよき地域社会を築いてゆく方針と承っております。

崇敬会の活動は、初めはささやかなものから出発しても、やがては六郷の精神文化の一つの中心になって行くであろう、と将来の発展を心から期待しております。

11月3日
文化の日

盛大に設立総会

会長に森田賢治氏を選出

六郷神社崇敬会の設立総会は、菊薫る文化の日の午前十時より六郷幼稚園ホールで行われました。参加者は百五十名を超え、新しい門出にふさわしい盛大な発会式となりました。

初めに発起人十四名を代表して、唐木嵯峨三氏が挨拶に立ち、ついで議長に森繁春



力強く就任の挨拶をする 森田会長

氏を選出して、議事に入りました。

まず平野順治氏が設立経過報告を行い、さきの鎮座九百三十年祭記念のご造営事業をきっかけに、新旧住民の間から「六郷の総鎮守」にふさわしい崇敬者の和と連帯の会を結成しようではないか、という気運が盛り上がり、崇敬会の設立はその必然的結果であると述べ、十一月三日現在、個人五百十五名、法人六十五社の加入をみていると発表。続いて会則の承認、山口四郎氏の事業計画及び予算の説明、中村幸雄氏の提案した役員人事など、いずれも満場一致で承認され、会長には森田賢治氏が選出されました。新会長は「みなさんのご意見を十分に尊重して、微力ながら会の発展のために尽したい」と力強く挨拶。また鈴木宮司からは、心のこもった感謝と期待のことが



会長
プロフィール

大正12年生まれ。
東六郷3丁目在住。公認会計士、
日本大学講師、
元六郷小学校PTA会長、元大田区PTA連合会長。

が述べられました。

神社新報社副社長・葦津泰国氏の「平成の御大礼に向けて」と題する記念講演が、大きな感銘を与えた後、懇親会に移り、顧問の森清太郎氏、参与の鈴木明氏と梅沢喜代造氏より祝辞が贈られました。会場は和気あいあいの談笑にみち、今後の会の躍進を祈って祝杯が続きました。

なお、東京都神社庁長・猿渡盛文氏、太宰府天満宮宮司・西高辻信良氏、同権禰宜、鈴木祐一氏より祝電が寄せられ、司会の平野欽宥氏から披露されました。



なごやかな懇親会のひととき

六郷神社の

御祭神について

六郷神社は、おうじんてんのう 応神天皇（ほんだいのそと 誉田別命）をおまつりする八幡様です。

八幡様は、わが国で最も多くまつられている神社で、その数は全国で四万社を超え、といわれております。

総本社ともいふべきお宮は、九州の宇佐八幡宮で、奈良時代には早くも皇



木の香も清々しい社殿の内部

室の厚い信仰を得ていました。その後、京都の石清水八幡宮、鎌倉の鶴岡八幡宮が建てられましたが、六郷神社は今から九百三十年余の昔、石清水八幡宮の分霊をおまつりした神社です。

一般に八幡様の御祭神は、応神天皇、神功皇后、比売大神の三柱の神様で、六郷神社でも昔はこの三神をおまつりしておりました。しかし、あるときの曳船祭で、一座の神輿が上総の国に流されてしまい、もう一座の神輿はことのほかの荒神で、しばしば祟りを受けたので土中に埋めてしまった。そのため今は御神体が一座になった、と江戸時代の本に書かれております。

現在の御本殿は、享保四年（一七一九）に建てられたものですが、三柱の神様をおまつりする建築様式になっていますので、応神天皇一柱をおまつりするようになったのは、それ以後のことではないか、と思われます。

八幡様は、源氏が氏神にしてから武神として有名になりましたが、古代、大陸文化をとりいれてわが国発展の基礎を築かれた偉大な文化の神、殖産の神でもあります。（宮司・鈴木武司）

顧問・参与・役員

顧問
理事

唐木 嵯峨三
森 清太郎
中島 縞吉

参与
鈴木 喜代明

梅沢 喜代明

會長
森田 賢治

副會長
平野 順治

喜多 絹子

常任理事
足利 幸吉

石井 君子

今泉 洋子

岡田 真佳

小林 喜一

橋本 喜一

平野 欽有

平林 キヌエ

本多 薫

前田 昭子

森田 繁春

山口 四郎

湯浅 久美子

吉崎 武子

吉野 倫子

理事

伊東 光治
江島 正雄
小崎 公孝

川田 桂太郎

川田 賢治

川田 博之

加藤 喜市

金子 賢次

上川 一枝

小林 有子

酒見 和子

塩沢 章子

代田 茂夫

須山 温三

高橋 武三

中谷 武三

中村 幸雄

橋本 幸雄

増本 昭雄

三尾 昭雄

宮崎 昭雄

持田 昭雄

矢沢 昭雄

平林 昭雄

代田 昭雄

初詣は氏神さまから

崇敬会員の 六郷神社 昇殿参拝

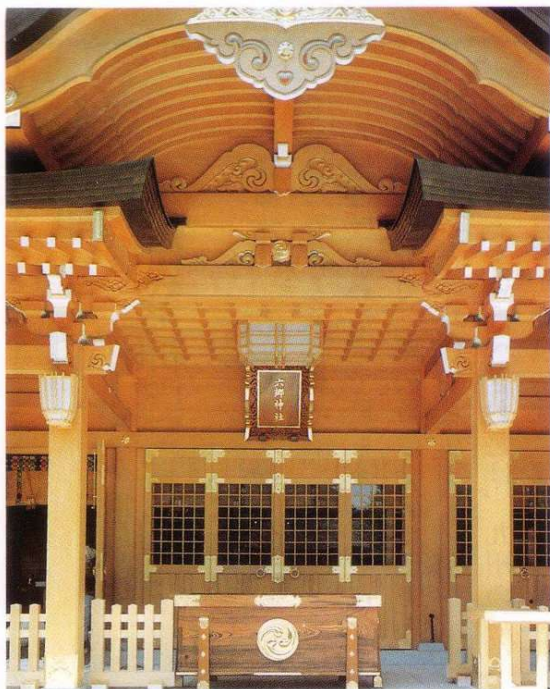
一月三日午前十時から十一時まで

午前十時から十一時までの間に、
ご参拝ください。崇敬会会員とそ
のご家族にかぎり、昇殿参拝の上、
神酒と神札が授与されます。受付で
します。

崇敬会の 月例行事

六郷神社への
ついたち早朝まいり

二月一日よりスタート



荘重な向拝(ごはい)

二月一日より毎月行います。六郷神社へ午前七時にお集まりください。昇殿参拝後、短い講話があり、お茶を飲みながらの座談なども行いたいと思います。

●お知り合いの方に、崇敬会への入会のおすすしめを。
年会費は、個人三千円、法人一万円。申込用紙は、社務所に備え付けてあります。

六郷神社祭事暦

一月一日	歳旦祭
一月七日	流鏑馬祭
一月十五日	成人式
二月三日	節分祭
二月十八日	例祭
六月三日	大祓祭
六月三十日	天神神社祭
九月二十二日	七五三
十一月十五日	新嘗祭
十一月二十四日	大祓祭
十二月三十日	大祓祭

こども流鏑馬

一月七日午後一時

東京都の無形民俗文化財に指定されている流鏑馬は、こどもたちの開運、健康、出世を祈って、一月七日午後一時より、古式ゆかしく境内で行われます。(雨天決行)

節分の豆まき

二月三日午後六時

鬼やらいの豆まきは、二月三日午後六時、境内に組まれた棧敷から、にぎにぎしく春を呼びます。

平成元年度崇敬会の事業計画と予算

十一月三日の設立総会において承認された平成元年度の事業計画及び予算は、次のとおりです。

◎事業計画

- 一、崇敬会会報の発行(年二回)
- 一、一月三日の崇敬会昇殿参拝
- 一、六郷神社ついたち早朝まいり
- 一、全国有名神社参拝旅行

◎平成元年度収支予算(平成元年11月3日〜同2年3月31日)

1) 収入の部	
個人会費(470人)	1,410,000円
法人会費(60社)	600,000
	<u>2,010,000</u>
2) 支出の部	
六郷神社協賛金	100,000
設立総会費用	380,000
備品費	200,000
会報発行費	350,000
事務費	370,000
通信費	50,000
会議費	50,000
雑費	30,000
予備費	480,000
	<u>2,010,000</u>

発行 六郷神社崇敬会

〒144大田区東六郷三十一十八

六郷神社社務所内

電話 ○三三七三二二八八九

振替 東京九一一三五五三

編集 平野順治

創立會員名簿

平成元年十一月三日現在

〔個人の部〕

南一

〔個人の部〕		和田金治郎	勝田清二	外所隆子	吉成武雄	小泉 梅	坂本芳夫	熊戸俊一	上野トメ	瀬田哲夫	唐木繁男	大村竹松																																							
南一	手塚一男	前田勘一	本田 薫	高橋雄喜次	菊地大作	矢澤はな江	福留武信	伊東 勇	武藤イネ	川田誠一	川田清晴	川田ミツ子	栗原昭一	東三	塩野谷松夫	岩沼博子	宇川豊二	須山うめ子	出村勝太郎	小川正一	杉山広司	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																		
山野井藤雄	武山昭十郎	前田昭子	坂東達郎	吉野鷹夫	吉野倫子	林口忠敏	藤崎外二	川田清次郎	川田賢治	上川原一枝	松村 智	荒木喜八郎	森 幸雄	中村占太郎	今井武夫	南二	森清太郎	齋藤正芳	森 信房	清水賢司	松浦昭司	村山利男	佐藤 清	須藤健三	小林万之助	小林和明	川口淑夫	堀原房雄	高木貞治	小林孝二郎	川崎広吉	湯浅久美子	森田ヨシ	森田崇裕	湯浅久二	坂東栄三輔	小西一子	東 卓司	持田好一	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治
金丸勝春	家亀 勲	稲葉淳二	吉野鷹夫	吉野倫子	加藤三二	伊東 勇	武藤イネ	川田誠一	川田清晴	川田ミツ子	栗原昭一	東三	塩野谷松夫	岩沼博子	宇川豊二	須山うめ子	出村勝太郎	小川正一	杉山広司	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																				
田中良雄	志村長司	長田 保	吉野倫子	加藤三二	伊東 勇	武藤イネ	川田誠一	川田清晴	川田ミツ子	栗原昭一	東三	塩野谷松夫	岩沼博子	宇川豊二	須山うめ子	出村勝太郎	小川正一	杉山広司	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																					
内田製作所	森 ナミ	徳田耕三	林口忠敏	白井多喜男	宮崎与四郎	前中泰一	東二	鈴木登志夫	川田耕治	川田ミツ子	栗原昭一	東三	塩野谷松夫	岩沼博子	宇川豊二	須山うめ子	出村勝太郎	小川正一	杉山広司	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																				
平林保喜	最首 武	石塚寛武	藤崎外二	宮崎与四郎	前中泰一	東二	鈴木登志夫	川田耕治	川田ミツ子	栗原昭一	東三	塩野谷松夫	岩沼博子	宇川豊二	須山うめ子	出村勝太郎	小川正一	杉山広司	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																					
古田友宏	松田 功	金須 忠	川田清次郎	前中泰一	東二	鈴木登志夫	川田耕治	川田ミツ子	栗原昭一	東三	塩野谷松夫	岩沼博子	宇川豊二	須山うめ子	出村勝太郎	小川正一	杉山広司	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																						
笠原恭作	杉山恒雄	平林謙策	川田賢治	東二	鈴木登志夫	川田耕治	川田ミツ子	栗原昭一	東三	塩野谷松夫	岩沼博子	宇川豊二	須山うめ子	出村勝太郎	小川正一	杉山広司	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																							
福田堯行	杉山恵一	上川原一枝	瀬川 俊	鈴木登志夫	川田耕治	川田ミツ子	栗原昭一	東三	塩野谷松夫	岩沼博子	宇川豊二	須山うめ子	出村勝太郎	小川正一	杉山広司	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																								
鯨岡弘幸	荒木喜八郎	松村 智	松森 実	小椋武文	栗原昭一	東三	塩野谷松夫	岩沼博子	宇川豊二	須山うめ子	出村勝太郎	小川正一	杉山広司	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																										
都丸祐作	森 幸雄	鈴木金次郎	石井君子	脇野惣一	東三	塩野谷松夫	岩沼博子	宇川豊二	須山うめ子	出村勝太郎	小川正一	杉山広司	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																											
幸村與佐郎	中村占太郎	斉藤昌益	加藤真教	小崎公孝	森田賢治	橋本源吾	北市和雄	須山うめ子	出村勝太郎	小川正一	杉山広司	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																												
近藤美枝	今井武夫	石井信子	天野柳太郎	川崎賢治	川崎賢治	橋本源吾	北市和雄	須山うめ子	出村勝太郎	小川正一	杉山広司	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																												
鈴木茂之	南二	藤田芳樹	東一	出川林造	北市和雄	須山うめ子	出村勝太郎	小川正一	杉山広司	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																														
三尾富子	森清太郎	藤田守次	矢野登美次	飯田笑治	出川恭央	小川光治	市川健一	持田好一	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																															
中村幸雄	齋藤正芳	川端権松	羽生田儀市	田中良治	吉田光治	市川健一	持田好一	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																																
小林喜一	森 信房	加藤喜市	恩馬則正	斉藤武男	市川健一	持田好一	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																																	
小林昭康	清水賢司	加藤正三郎	植松ふく	会田清吉	東 卓司	持田好一	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																																	
横山清次	松浦昭司	小泉権太郎	須藤健三	飯島正七	小西一子	東 卓司	持田好一	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																																
立川登美子	村山利男	佐藤 清	小林万之助	長原光一	小西一子	東 卓司	持田好一	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																																
東瀬 誠	増淵三枝子	草野五郎	小林和明	岡 和彦	坂東栄三輔	小西一子	東 卓司	持田好一	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																															
石原 利	後藤育郎	後藤須恵子	川口淑夫	深谷勝弘	湯浅久二	坂東栄三輔	小西一子	東 卓司	持田好一	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																														
矢納富蔵	島田勝昌	古口清治	蛇原房雄	溝尾辰雄	森田崇裕	湯浅久二	坂東栄三輔	小西一子	東 卓司	持田好一	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																													
長塚俊夫	小泉温代	南三	高木貞治	川田博之	森田ヨシ	湯浅久二	坂東栄三輔	小西一子	東 卓司	持田好一	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																													
長塚幸一	小泉湛之	鐺木和幸	小林孝二郎	川崎広吉	湯浅久美子	森田ヨシ	湯浅久二	坂東栄三輔	小西一子	東 卓司	持田好一	宮沢利彦	須山温夫	竹内忠址	秦野義一	堀内忠次	遠藤文	藤沢健二	早野ミツ子	曾倉 求	徳永貴光	清水清喜	平野順治																												

仲四	金山千登志	石川信男	酒井一成	牧野珠算塾	石久保重義
須山俊明	宮崎 豊	中村敬造	松尾 勉	古屋忠秋	宗像清子
竹沢尚文	安彦二千六	岩井貞司	鈴木英吉	五十嵐 司	深沢富蔵
代田秀雄	玉川正路	吉澤吉光	北川貞子	白井ミサ	南蒲田
村地政善	竹中秀次郎	須田米作	松岡栄治	菊池富夫	熊谷初枝
石川丑蔵	長谷川茂道	遠山 清	鶴池勇次	尾熊静枝	菅原公雄
大戸孝太郎	岩出 忠	金井茂夫	吉田英次	秋元 実	江嶋修司
菊池秀治	宮崎正夫	沼田宜啓	一色孝雄	加藤明治	横山万吉
常井 久	大場 亨	渡辺信幸	足利幸吉	竹内 稔	井上 堯
齊孝太郎	東澤修二	飯田りう子	村上マサ子	山田藤吉	塩谷礼二郎
内海 清	大澤千秋	高橋一夫	遠藤正次	小山喜伴	森谷秀子
渡部泰生	秋山日出子	菅沼喜久哉	西三	江部謙五	村田一郎
金子長蔵	西一	島本盛士	金田賢一	羽田	辻 四郎
高橋 正	森 繁春	塩田良三	斉藤純一	伊東光治	岩佐正明
白井英夫	石渡二郎	金成享一	鬼澤廣治	幸田鉄夫	塩井孝清
持田博美	金井金子郎	橋本武雄	山辺悦朗	伊東誠二	大山金弘
大沢正次	賀川茂男	西二	伊藤せい子	幸田尚也	西桃谷
鈴木良二	望月 哲	小松忠行	木村 司	伊東寿作	増子義朗
西川次郎	小樺行雄	坂野喬一	若月輝威	伊東龍一	山王
綱島一郎	秦 三郎	長崎敏男	前田友彦	伊東喜久雄	森田 茂
鈴木和章	高宮忠義	清水泰二郎	有馬長勝	伊東林之助	大森東
小川吉次	四家重吉	滝川イチ	高橋武三	荻中	石塚重男
代田茂夫	武澤喜一	柑子山周吉	浜辺三男	田所富子	東馬込
米川 隆	菊池正一	加藤ナカ	上川原新太郎	伊藤正雄	樋川美智子
佐藤吉衛	川上直道	平林シヅ子	前田マサ	小川章吾	川崎市
関谷良夫	仲野泰昭	前嶋要蔵	八代豊彦	岡本生三	鳥居正夫
亀田修次	羽田徳重	前島昭二	西四	大前あつ子	鎌倉市
天野光子	中山新一	前島敬一	飯田嘉兵	鈴木繁久	湯本堅太郎
谷内敏男	西沢良子	一色弘三	佐々木勝子	猪俣千七郎	湯河原市
後藤誠一	高橋利勝	塩澤 章	塚平栄次	森 房昌	鈴木多喜子
松澤直治	北嶋銀蔵	近藤ムラノ	三和 孝	戸松照夫	

〔法人の部〕

南六郷	橋本工務店(橋本情)	城南特機(株)	富士産業(株)	増測製作所(増測国昭)	北斗電気(株)	(株)菅沼金型製作所	(株)東蒲建機工業	(株)精研社	(資)鎗木製作所	(株)六郷製作所	(株)山崎工業所	関西ペイント(株)東京工場	都南工業給食共同組合	小泉泰助	(株)後藤機械模型製作所	吉崎武守	図書印刷(株)蒲田工場	(株)本澤製作所	酒井嘉市	(株)千代田工業所	(株)三越製作所	前島塗装工業(株)	杉山管工設備(株)	城南信用金庫六郷支店	(株)測範社	(株)興和商会	パーカー加工(株)六郷工場			
林 孝嘉	(株)小林彫刻	(株)高光機械製作所	(株)中村電機商会	仲六郷	唐木材木店(唐木嵯峨三)	新山重徳	石原貞三	大橋三郎	竹内商事(株)	神沢文武	(株)松本興業	福広工業(株)	(株)フアンダリウム	モリモールド工業(株)	坂本商工(株)	ミドル産業(株)	(株)丸半商店	六郷バッキングセンター	西六郷	(株)オカグ技研(岡田真佳)	(株)整電社	(株)五十嵐工具	(株)穂高電化工業所	(株)田中工機製作所	佐山合成樹脂(株)	(株)日本礦油	(株)ユタカ硝子	(株)日高精機	(株)永昇工業	(株)和島鑄造所
(株)尾熊シャーリング	六郷地区外	梅澤喜代造	(株)小知和配管	(株)植春造園	東洋スチール工業(株)	富士工事(株)	(株)神山	(株)四賀精工																						

〔備考〕

以上は、設立総会の
行われた平成元年十一
月三日までに、ご入会
をいただいた方々のリ
ストです。

なお、十一月三日以
後にご入会の方々のお
名前は、明年五月発行
予定の会報第2号に掲
載いたします。

十二月一日現在、個人
五百四十二名、法人六
十九社です。